

AI 時代の「ひとの学び」を考える教育シンポジウム

ひと と AI。 – AI は好奇心を持てるのか –

今回は、探研移動小学校を主宰し、NHK for School「メタモル探偵団」の監修や「探究する力」「科学が教える、子育て成功への道（翻訳）」の著者で、「おっちゃん」と呼ばれて小学生とともに探究する学びを実践してきた市川力さんと、ダウンゴ人工知能研究所所長で、NPO 法人全脳アーキテクチャ・イニシアティブ代表の山川宏さんをお迎えしてのシンポジウム。

大学時代、認知・情報科学を学び「人間が体験を通じ知識をつくっていくこと」に関心を持ち、人の探究する力の可能性を追い続けてきた市川さんと、人間の脳の仕組みを研究し、より人間の思考に近い人工知能の開発に取り組んでいる山川さんとのコラボレーションです。AI を通じて人間を知り、AI とひとが共に学び合い、より豊かな学びをひとが手にしていくにはどうしたらいいのか、これからの時代を生きる子どもたち、そして、私たち大人にとって必要なことは何か。『学びにおける好奇心』ということを切り口にご一緒に考えていきましょう。

開催日：2018年2月24日（土）13時30分～17時（開場13時）

会場：女子美術大学 杉並キャンパス7号館 7201教室

東京都杉並区和田 1-49-8

入場無料

定員：250名

アクセス

<http://www.joshibi.ac.jp/access/suginami>

<http://www.joshibi.ac.jp/campuslife/establishment/suginami>

【 内容 】

開催時間：開場（13時）

開演：13時30分

主催者挨拶

（13時40分～14時40分）

1. 講演：市川 力 氏（探研移動小学校主宰）

**「おっちゃんと子どもが共に探究する学び
～大人も子どもも面白がり屋になるために～」**

休憩（10分）

（14時50分～15時50分）

2. 講演：山川 宏 氏（ドワンゴ人工知能研究所所長）

**「脳の仕組みから人工知能を考える研究者は、
これからの“ひと”の学びをどう思うのか」**

休憩（10分）

（16時～17時）

3. パネルディスカッション

モデレーター：川崎紀弘氏

終了後、名刺交換等。

講師プロフィール

市川 カ

1963 年 東京生まれ。

1990 年渡米後 13 年間にわたり、日本人駐在員向けの学習塾を運営。英語環境下での日本語学習指導に携わった経験からグローバル時代を生きる子どもたちに必要な、真のコミュニケーション能力を育てることを目指す教育研究・実践を行う。2003 年帰国後、東京コミュニティスクール初代校長として 2017 年に退任するまで子どもの探究心に火をつける教育実践を行ってきた。現在は、探研移動小学校を主宰し、大人も子どもも共に学びながら探究マインドを育む学び場づくりを続けている。著書に『英語を子どもに教えるな（中公新書ラクレ）』、『探究する力（知の探究社）』、『科学が教える、子育て成功への道（今井むつみ氏と共同翻訳：扶桑社）』。また、NHK for School で「すくどう小学校放課後クラブメタモル探偵団」の監修・出演など幅広く活躍中。



山川 宏

1965 年 埼玉県生まれ。

工学博士

NPO 法人全脳アーキテクチャ・イニシアティブ代表・(株)ドワンゴ 人工知能研究所 所長

1987 年東京理科大学理学部物理学科卒業。1989 年東京大学大学院 理学系研究科 物理学専攻 修士課程修了。1992 年東京大学大学院 工学系研究科 電子工学専攻 博士課程修了。

1992 年富士通研究所入社。1994 年同社から通産省 RWC プロジェクトに参加。2014 年ドワンゴ人工知能研究所 所長。2015 年産総研人工知能研究センター客員研究員就任。2015 年特定非営利活動法人全脳アーキテクチャ・イニシアティブ 代表就任。2015 年電気通信大学大学院 情報システム学研究科客員教授就任。

専門は人工知能、特に認知アーキテクチャー、概念獲得、ニューロコンピューティング、意見集約技術など。

